



# 遠大勵志

## 全学年で PTA 進路研修会終える

1学年 = 5月17日(木)、さくらホール中ホール  
2学年 = 5月18日(金)、日本現代詩歌文学館  
3学年 = 5月18日(金)、さくらホール中ホール

1学年には132名(60%)、2学年には125名(52%)、3学年には182名(77%)の参加をいただきました。

お忙しい中、参加いただきましたことに、感謝申し上げます。

1・2学年では、それぞれ学年の成績を含めた生徒の様子や学年団の動きについて話がありました。その後、1学年ではベネッセ工藤佑哉氏による「進路実現のために～変化する入試にどう立ち向かうか～」。2学年ではマイナビ阿部裕也氏による「保護者が知っておくべき「大卒就職状況」と「学費」の話」。保護者の皆様には、これから1年後、2年後の進路を見越した講演を聞いていただきました。ご家庭に持ち帰って様々お話の内容を家庭でも共有していただいたものと思っております。

3学年は、進路指導課からいよいよ具体化してくるAO、推薦、一般入試についての説明など盛りだくさんの内容でした。約2ヶ月後には、進路に向けた具体的な話しを三者面談で詰めていくこととなります。保護者の皆様には、それまでに家庭内で、じっくりと腰を据えて、将来の進路や志望についてお話しを進めていただくようお願いいたします。



## 春季高校野球

## 県大会惜敗！！

県大会に出場を決めた本校野球部。

1回戦一関一高との試合は、20日(日)11:50から始まりました。

昨日までの雨が嘘のように晴れ上がり、暑いぐらいの日差し。空の青さと外野芝生の緑のコントラストが鮮やかな中で熱戦が繰り広げられました。

一関一 510000200 = 8

黒北 002020030 = 7

本校は1、2回で6点奪われたものの、3回に1番杉沢颯が出塁、2番平野が右中間へ2塁打を打ち1点、さらに5番杉沢昂のセンター前ヒットで合計2得点。

5回にも、2番平野、3番佐藤、4番八重樫海で満塁、5番杉沢昂の押出しで1点、6番小田島の犠牲フライで合計2得点と追い上げ。

逆転を信じ、応援部幹部を中心に野球部、父母会、応援席が一体となって送る声援が球場全体に響き渡りました。

8回には、無死満塁のチャンスを2回作り、押出しと4番八重樫のヒットで合計3得点と詰め寄り。

結果は惜しくも1点差での敗退でしたが、最後まで勝利に向かう姿勢は、とても素晴らしいものでした。

私は、甲子園をかけた夏の大会で勝ち進む可能性を十分感じました。大いに期待します！！

## 頑張れ！黒陵野球部！



# 【部活動の大会結果】

## ●第40回岩手県高等学校将棋大会

5月18日(金)、19日(土)に県高校教育会館で開催されました。

【個人戦】男子 C 級

・高橋青城(2年2組)、高見魁(2年6組)、  
梅木龍世(1年3組)、吉田大亮(1年3組)の4名が参加。

善戦するもトーナメント進出ならず。

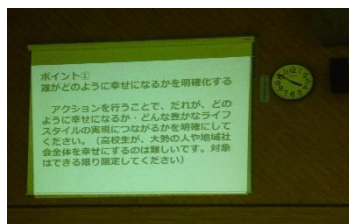
【団体戦】

黒北 B(高見・梅木・高橋)は、2勝3敗の結果で、順位決定戦に進むことができません。

## 【6月の主な行事】

- ・5日(火)6日(水)3年進研 M 模試
- ・6日(水)県高 P 連定期総会(盛岡)
- ・7日(木)スクールカウンセラー来校日
- ・10日(日)花巻黒陵同窓会(ホテル花城)
- ・11日(月)～15日(金)前期中間考査  
※13日(水)は7/14(土)振替休日
- ・16日(土)3学年特訓①
- ・19日(火)～教育実習スタート
- ・20日(水)～22日(金)体育祭
- ・23日(土)3学年自学自習日①
- ・24日(日)1年最難関大講座  
2年東大講座  
3年医学部講座
- ・27日(水)芸術鑑賞(午後、さくらホール)
- ・28日(木)歯科検診(全学年)
- ・30日(土)特訓②

## 【きたかみ世界塾講座5/18の様子】



## 変化する～入学試験～

校長通信No.10の中で、順天堂大学医学部入試問題(与えられた写真から得られる様々な情報をもとに、医師をどう捉え、どういう医師になりたいのか、自分のビジョンに絡ませながら、文章を構成していく小論文問題)について紹介しました。

今、大学の入学試験は大きく変わろうとしています。今後、一問一答のような従来の形式のものは少なくなり、受験生が今まで培ってきた多岐にわたる情報(教養)を駆使しながら、設問に対応していく形、自由に自分の考えを展開して述べていく2次試験へと変化していくようです。

ここで、東大の特別選考小論文の問題を紹介しします。どう解答するか考えてみませんか？

現代では自然保護が重視されるが、人類がいなくなるのが、最大の自然保護につながるという考え方もある。こういう考え方もあることを踏まえて、自然保護についてのあなたの考えを述べなさい。

【平成30年度 東京大学 外国学校卒業生 学生特別選考小論文】

さて、みなさんはどのような論を展開しますか？

小学生は小学生なりに、中学生は中学生なりに書くことができそうに思います。しかし、この問題の解答時間は、たつぷりと2時間半(150分)なのです。単なるイメージや考えだけでは浅いものにしかありません。

普段からメディアの情報をどう受け取り考えているのか、何気なく受け止めがちなことに対して、どれほど感度良く考えようとしているのかも問われます。

また、考えを裏付ける知識、具体的なネタ、出題の背景や論を展開する根拠等々、様々な事柄を基に読み手をどう納得させる展開ができるか、考え抜く必要があります。

つまり、自分の中に知識を結びつける基本的な教養の背景がなければ、深い論の展開ができないのです。

学校の授業は、多くの知識や物事を考えるための基礎基本となるものです。それを断片的なものとして、ただ覚えるだけではなく、それらを如何に有機的に結びつけて考えられるか、そういう思考が大事になってきますね。